



Cisco IronPort Email Security Plug-in for Outlook の設定および 使用方法

この章では、Cisco IronPort Email Security Plug-in for Outlook で利用可能な機能について説明します。Cisco IronPort Email Security Plug-in には、Outlook 電子メール プログラムと連携する数種類のセキュリティ プラグインが含まれます。ここでは、次の項目を取り上げます。

- 「Cisco IronPort Email Security Plug-in for Outlook の一般的な設定」(P.4-2)
- 「Outlook プラグインの基本設定」(P.4-3)
- 「Reporting Plug-in」 (P.4-5)
- 「Encryption Plug-in」 (P.4-9)
- 「ロギング設定の変更」(P.4-12)
- 「診断ツールを使用したトラブルシューティング」(P.4-13)
- 「Cisco IronPort Email Security Plug-in のアンインストール」 (P.4-16)

Cisco IronPort Email Security Plug-in for Outlook の一般的な設定

Cisco IronPort Email Security Plug-in は、Encryption Plug-in、Reporting Plug-in な どの Cisco プラグインをサポートするプラットフォームです。Cisco IronPort Email Security Plug-in の一般的な設定は、[Options] ページで行います。

イネーブル/ディセーブル

デフォルトでは、Cisco IronPort Email Security Plug-in はインストール時にイ ネーブルになります。Cisco IronPort Email Security Plug-in をディセーブルにす る場合は、次の手順を実行します。

- Outlook 2003/2007 では、[Tools] > [Options] > [Cisco Email Security] を選 択します。
- Outlook 2010 では、[File] > [Options] > [Add-ins] を選択します。次に、 [Manage] ドロップダウン リストから [COM Add-Ins] を選択し、[Go] をク リックします。



[COM Add-Ins] ウィンドウで、[Cisco IronPort Email Security Plug-in] チェック ボックスをオフにして [OK] をクリックします。

Outlook プラグインの基本設定

基本設定は [Cisco Email Security] タブで設定します。Outlook 2003/2007 で [Cisco Email Security] タブを開くには、[Tools] > [Options] > [Cisco Email Security] を選択します。

または

Outlook 2010 では、[File] > [Options] > [Add-ins] > [Add-in Options] > [Cisco Email Security] を選択します。

[Cisco Email Security] タブ

Options				? 🗙
Preferences Other		Mail Setup Delegates	Mail Format Cisco	Spelling Email Security
Reporting Encryption Logging Diagnostic	Reporting about unso Enable The Encryp transferrin Enable A log file w Enable The Diagno	Delegates allows you to submit fe plicited or threatening r ption plug-in allows you g writes and lists all action ostic tool collects all pli	eedback to Cisco Sy nessages u to secure mail Enco Is that have occure Lo	cisco stems forting Options d gging Options ation Run Diagnostic
Version: 7.	1.0.38		(Help
			OK Can	cel Apply

レポート、暗号化、およびロギングをイネーブルにするには、このタブで [Enable] チェックボックスをオンにします。さらに設定を行うには、[Reporting Options...]、 [Encryption Options]、または [Logging Options...] ボタンをクリックします。問題解 決時に診断ツールを使用すると、Cisco IronPort Email Security Plug-in でレポートを 実行して、シスコのサポートに送信することもできます。

Reporting Plug-in

レポート設定により、Reporting Plug-in をイネーブルまたはディセーブルにで きます。Reporting Plug-in を使用すると、受信した電子メールがスパム、 フィッシング攻撃、またはウイルスの場合や、スパム(「ハム」と呼ばれること もあります)であると誤って分類された場合に、シスコに報告できます。

Cisco IronPort Email Security Reporting Plug-in for Outlook は、Outlook の [Options] ページで設定できます。

Reporting Plug-in for Outlook 2003/2007 をイネーブルにするには、[Tools] > [Options] > [Cisco Email Security] タブを選択し、[Cisco Email Security] タブの [Reporting] フィールドで [Enable] チェックボックスをオンにします。

または

Reporting Plug-in for Outlook 2010 をイネーブルにするには、[File] > [Options] > [Add-ins] > [Add-in Options] > [Cisco Email Security] タブを選択し、[Cisco Email Security] タブの [Reporting] フィールドで [Enable] チェックボックスをオンにします。

[Reporting Options]

Outlook 2003/2007 で [Reporting Options] ページにアクセスするには、[Tools] > [Options] > [Cisco Email Security] タブを選択し、[Reporting Options] ボタン をクリックします。

Outlook 2010 で暗号化設定を変更するには、[File] > [Options] > [Add-ins] > [Add-in Options] > [Cisco Email Security] を選択し、[Reporting Options] ボタン をクリックします。

[Reporting Options] ページ

🔤 Repor	ting Options 📃 🗖 🔀
Spam and	d Threat Reporting
	Keep a copy of sent report
	Display notification when an email is successfully reported
	Display notification when multiple emails are successfully reported
	Add security toolbar to main window
	Add message reporting options to right-click menu
	Add security toolbar to message window
	OK Cancel

オプション

ここでは、設定可能なレポート オプションについて説明します。

- [Keep a copy of sent report]: デフォルトでは、スパムまたはウイルスの電子 メールメッセージや、スパムまたはウイルスであると誤って分類された電 子メールメッセージをシスコに報告すると、送信した報告電子メールは削除されます。このオプションを選択すると、電子メールは削除されません。
- [Display notification when an email is successfully reported]:電子メールを スパムやウイルスとして報告すると、Outlook で正常に報告されたことを示 すメッセージをダイアログボックスに表示できます。このオプションをオフ にすると、このダイアログボックスは表示されません。
- [Display notification when multiple emails are successfully reported]: 複数の電子メールをスパム、ウイルス、フィッシング、非スパムとして報告すると、Outlook で正常に報告されたことを示すメッセージをダイアログボックスに表示できます。このオプションをオフにすると、このダイアログボックスは表示されません。
- [Add security toolbar to main window]: デフォルトでは、Cisco IronPort Email Security Plug-in をインストールすると、プラグイン ツールバーが Outlook のメイン ウィンドウに追加されます。このオプションをオフにする と、このツールバーは Outlook のメイン ウィンドウに追加されません。
- [Add message reporting options to right-click menu]: デフォルトでは、 Cisco IronPort Email Security Plug-in をインストールすると、Reporting Plug-in のメニュー項目が Outlook の右クリック コンテキスト メニューに追 加されます。このオプションをオフにすると、このメニュー項目は右クリッ ク コンテキスト メニューに追加されません。
- [Add security toolbar to message window]: デフォルトでは、Cisco IronPort Email Security Plug-in をインストールすると、プラグイン ツールバーが電子 メール メッセージ ウィンドウに追加されます。このオプションをオフにする と、このツールバーは電子メール メッセージ ウィンドウに追加されません。

Reporting Plug-in for Outlook の使用方法

概要

Cisco IronPort Email Security Plug-in for Outlook を使用すると、受信ボックス に受信したスパム、ウイルス、またはフィッシングメールについてシスコに フィードバックできます。電子メールメッセージが誤って分類される場合(た とえば、スパムとして処理する必要がある場合など)、シスコに報告できます。 シスコは、このフィードバックを利用して不要なメッセージが受信ボックスに配 信されないようにフィルタを更新します。

このプラグインは、スパム、ウイルス、フィッシング、または誤って分類された 電子メールを報告できるように、Outlookのメニューバーおよび右クリック メッセージメニューに便利なインターフェイスを提供します。電子メールを報 告すると、レポートが送信されたことを示すメッセージが表示されます。報告し たメッセージは、シスコの電子メールフィルタの改善に使用され、受信ボック スに一方的に送りつけられるメールを減らすことができます。

シスコへのフィードバック

このプラグインにより、Outlook に [Spam]、[Not Spam]、[Virus]、[Phish]、お よび [Block Sender] ボタンを含む新しいツールバーが追加されます([Block Sender] は迷惑メール ボックスの電子メールはブロックしません)。

Eile Edit View Go Tools	Actions Help Adobe PDF	
	🍃 😓 SnagIt 📑 🛛 Window	
🛛 🧑 Spam 🛛 🔄 Not Spam 🛛 🤯 Virus	🧓 Phish 🛛 🗞 Block Sender 💂	

これらのボタンを使用して、スパム、ウイルス、およびフィッシングメールを 報告します(フィッシング攻撃とは、不正な偽装 Web サイトにリンクしている 電子メールです。この Web サイトは、受信者にクレジット カード番号、口座の 名義人名とパスワード、社会保障番号など、個人の金融情報を漏洩させるように 作られています。たとえば、*infos@paypals.com* から個人の銀行口座情報を不正 に要求する電子メールが送信されてくることがあります)。 右クリックすると表示されるコンテキスト メニューを使用して、スパム、誤分 類されたメール、ウイルス、フィッシングを報告することもできます。

	<u>O</u> pen			
	Print			
2	Reply			
2	Reply to A <u>I</u> I			
4	For <u>w</u> ard			
	Mark as	•	6	Spam
	Follow Up	•		Not Spam
	Categor <u>i</u> ze	•	i0	Virus
	Mark as U <u>n</u> read		6	Phish
	Find <u>A</u> ll	•		
1	<u>C</u> reate Rule			
	Junk E-mail	•		
×	<u>D</u> elete			
-	Move to Folder			

メッセージ ウィンドウのボタンを使用して、スパム、ウイルス、フィッシング、 誤分類されたメールを報告できます(誤分類されたメールとは、スパム、ウイル ス、またはフィッシングであると誤ってマークが付けられたメールです)。

	🚽 ") Ü 🌢 🤇	> =	Re: \	We have	toffee ·	- Mes	sage (HTM	IL)			- 1	-	x
	Message De	eveloper	Adobe PDF									-	0
Reply	Reply Forward to All	Delete	Move to Folder * Create Rule Other Actions *	Block Sender	😵 Safe Li:	sts * nk	Categorize	Follow Up *	Mark as Unread	Find	Spam		
	Respond	A	Actions	Junk	E-mail	- G	Op	tions	Gi.		Cisco Email Security		

受信した電子メールがスパムであると誤って分類された(つまり、フィルタリン グされ、[Spam] フォルダに配信された)場合、[Not Spam] ボタンをクリックし て誤分類された電子メールを報告できます。これにより、この送信者からのメー ルは今後スパムとして分類されることはありません。

また、[Junk Email] フォルダのメッセージに誤分類とマークを付けるには、メッ セージ ウィンドウの [Not Spam] ボタンをクリックします。



右クリック コンテキスト メニューを使用して、誤って分類されたメールにマー クを付けることもできます。



Encryption Plug-in

暗号化設定は、[Cisco Email Security] ページにあります。Outlook 2003/2007 で 暗号化設定を変更するには、[Tools] > [Options] > [Cisco Email Security] を選択 し、[Encryption Options] をクリックします。

Outlook 2010 で暗号化設定を変更するには、[File] > [Options] > [Add-ins] > [Add-in Options] > [Cisco Email Security] を選択し、[Encryption Options] ボタンをクリックします。

Encryption Plug-in をイネーブルまたはディセーブルにするには、[Cisco Email Security] タブの [Encryption] フィールドで [Enable] チェックボックスをオンまたはオフにします。

[Encryption Options]

asso Encryp	otion Options	
Encryption	Flag Subject Text [SEND SECURE] Add before the subject Add after the subject Flag X-header Flag X-header Flag x-header Isig X-header Flag messages using Sensitivity header	
	ОК	Cancel

オプション

暗号化された電子メールを送信するオプション

送信メールを暗号化する場合、電子メールに暗号化のマーク(「フラグ」)を付け る必要があります。これにより、システム管理者によって作成されたフィルタは 暗号化する必要があるメッセージを識別できます。

警告

システム管理者に連絡せずに、電子メールに暗号化のフラグを付ける方法を変 更しないでください。これらの方法では Cisco IronPort Encryption アプラ イアンスの設定を変更して適切に動作するようにする必要があり、この変更を 行えるのはシステム管理者だけです。

次のいずれかの方法で電子メールに暗号化のマークを付けることができます。

- [Flag Subject Text]:送信メールの [Subject] フィールドにテキストを追加して、電子メールに暗号化のフラグを付けることができます。[Subject] フィールドの先頭にテキストを入力して、電子メールを暗号化する必要があることを示します(デフォルト値は [SEND SECURE] です)。
- [Flag X-header name/value]:送信メールに x ヘッダーを追加して、電子メール に暗号化のフラグを付けることができます。1 つめのフィールドに x ヘッダー を入力します (デフォルト値は x-ironport-encrypt です)。2 つめのフィールドに true または false を入力します。true を入力した場合、指定された x ヘッダーの メッセージが暗号化されます (デフォルト値は true です)。

 Outlookの秘密度に関するヘッダー Outlook では、秘密度に関するヘッダー を追加して電子メールの暗号化を示すフラグをメッセージに付けることがで きます。この方法を選択すると、Outlookの秘密度に関するヘッダーを使用 して電子メールに暗号化のマークを付けることができます。

暗号化された電子メールの送信

安全な電子メールを送信するには、電子メールの作成中に [Encrypt Message] ボ タンを選択します。安全なメッセージを送信する前に、次のように [Encrypt Message] ボタンが選択されていることを確認します。

C	▲ ◆ ♥ ♥	
Message	Insert Options Format Text	
Cisco Email Security	Paste Clipboard	[Encrypt Message] ボ タン
Send Cc Account • Bcc Subject		

[Encrypt Message] ボタンは、電子メールの作成時に使用できます。

ロギング設定の変更

[Logging Options] ページを開くには、[Logging Options...] をクリックします。 [Logging Options]

🐝 Loggin	g Options			
Logging	Log file name:		\${APPDATA}\Cisc	co/Cisco IronPort I
	Log level:		DEBUG	~
				OK Cancel

オプション

[Logging] メニューから次のオプションを設定できます。

[Log file name]

%appdata%\Cisco に保存されるログファイルの名前を指定できます。ログファイル名には .log 拡張子が必要です。

[Log level]

ログレベルは、ログファイルに記録される情報を指定します。次のいずれかの ログレベルを選択できます。

- [ERROR]: エラー メッセージおよび例外状況をログに記録します。
- [WARN]: [ERROR] で記録されるメッセージおよび警告メッセージがログ に記録されます。
- [INFO]: 基本情報およびその他のステータス メッセージがログに記録されます。自動更新プロセスのステータス メッセージがログに記録されます。
 [WARN] および [ERROR] で記録されるメッセージもすべてログに記録されます。
- [DEBUG]:設定に関する詳細情報がログに記録されます。[ERROR]、 [WARN]、および[INFO]のすべてのエラーメッセージ、および問題のトラ ブルシューティングに役立つ可能性がある情報がログに記録されます。

特定の状況に必要なトラブルシューティングのレベルに基づいてログレベルを 変更できます。たとえば、Cisco IronPort Email Security Plug-in に関する問題が 発生した場合、ログレベルを [DEBUG] に設定すると、開発者が問題を再現し て診断を実行できるように最大限の情報を提供できます。

診断ツールを使用したトラブルシューティング

Cisco IronPort Email Security Plug-in には、問題のトラブルシューティング時に シスコのサポートを支援する診断ツールが用意されます。診断ツールはプラグイ ンから重要なデータを収集します。このデータをシスコのサポートに送信して問 題解決を支援できます。

エラーが発生した場合や、修復プロセスでは解決できない Cisco IronPort Email Security Plug-in に関する問題が発生した場合に、診断ツールを使用します。また、診断ツールを使用すると、不具合の報告時にシスコのエンジニアと重要情報を共有することもできます。

注:エラーが発生した場合、トラブルシューティングのヒントの「Diagnostic」 の項を参照してください。

Cisco IronPort Email Security 診断ツールにより収集され るデータ

診断ツールは、ご使用のコンピュータから次の情報を収集します。

- 一部の COM コンポーネントに関する登録情報
- 環境変数
- Cisco IronPort Email Security Plug-in の出力ファイル
- Windows および Outlook に関する情報
- システム ユーザ名および PC 名
- その他の Outlook プラグインに関する情報

Cisco IronPort Email Security 診断ツールの実行

Cisco Email Security 診断ツールは次の場所のいずれかから実行できます。

- **Cisco Email Security の [Options] タブから**。通常は、Cisco Email Security の [Options] タブから診断ツールを実行します。
- Program Files¥Cisco IronPort Email Security Plug-in フォルダから(通常 は C:¥Program Files¥Cisco¥Cisco IronPort Email Security Plug-in)。これは Cisco IronPort Email Security Plug-in がインストールされているフォルダで す。
- [Start Menu] > [All Programs] > [Cisco IronPort Email Security Plug-in]
 > [Diagnostic Tool] から。

Outlook の [Options] ダイアログからの診断ツールの実行

Outlook 2003/2007 では、[Tools] > [Options] > [Cisco Email Security] タブ を選択し、[Run Diagnostics] をクリックします。Outlook 2010 では、[File] > [Options] > [Add-ins] > [Add-in Options] > [Cisco Email Security] を選択 し、[Run Diagnostics] をクリックします。

Options		? 🔀			
Preferen Delegate	ces Mail Setup Mail Format s Mail Anti-Virus Anti-Spam	Spelling Other Cisco Email Security			
		cisco			
Reporting	Reporting allows you to submit feedback to C about unsolicited or threatening messages	isco Systems			
	✓ Enable	Reporting Options			
Encryption	The Encryption plug-in allows you to secure m transferring	nail			
	✓ Enable	Encryption Options			
	A log file writes and lists all actions that have	occured			
	🔽 Enable	Logging Options			
Diagnostic	The Diagnostic tool collects all plug-in related information				
		Run Diagnostic			
Version: 7.	1.0.38	Help			
	ОК	Cancel Apply			

1. 診断ツールがデータを収集するまで数秒間待ちます。

 診断ツールがデータを収集し終わったら、データが正常に収集されたことを 示すメッセージが表示されます。

CiscoDiagnosticReport.zip ファイルに移動して、システム管理者またはシスコのサポート担当者にファイルを手動で送信できます。

Program Files からの診断ツールの実行

Cisco IronPort Email Security Plug-in がインストールされているフォルダ (通常 は C:¥Program Files¥Cisco¥Cisco IronPort Email Security Plug-in) に移動して、 *Cisco.EmailSecurity.Framework.Diagnostic.exe* ファイルをクリックします。

[Start] メニューからの診断ツールの実行

診断ツールを実行するには、[Start] > [Programs] > [Cisco IronPort Email Security Plug-in] を選択します。[Diagnostic Tool] をクリックします。レポート を表示するには、[Go to Report] をクリックします。レポートは、zip ファイル *CiscoDiagnosticsReport.zip* に保存されます。

Cisco IronPort Email Security Plug-in のアン インストール

Cisco IronPort Email Security Plug-in をアンインストールするには、[Control Panel]> [Add/Remove Program] を選択するか、setup.exe プログラムを実行します。

アンインストール中、次の項目が削除されます。

- プラグインによって作成されたすべてのレジストリエントリ
- [Add/Remove Program] に一覧表示されるプラグインのエントリ
- プラグインに関連するファイル
- プラグイン ツールバー (Outlook から削除)



プラグインをアンインストールしても Outlook のパフォーマンスには影響しません。

Cisco IronPort Email Security Plug-in for Outlook のアンインストール手順

Cisco IronPort Email Security Plug-in for Outlook をアンインストールするには、 次の 2 つの方法があります。

[Start] > [Control Panel] > [Add/Remove Programs] をクリックします。
 [Cisco IronPort Email Security Plug In] を選択して、[Remove] をクリックします。

または

 プラグイン設定ファイル(プラグインのインストールに使用したファイル) をダブルクリックし、[Remove] オプションを選択して、Cisco IronPort Email Security Plug-in をアンインストールします。